



LDK全景。リビングとキッチンの天井高の差は約30センチ。LDKに入ると空間が開けて広く感じる効果も。内装を決める際には、使用する材料を反映したバースが非常に役立ったという。仕事と子育ての忙しさのなかでもグループLINEを活用し、キャッチボールをしながら会話を深めていったという。

玄関の土間収納には、Iさんのスニーカーのコレクションが並ぶ。2階ホール横には、廊下に面してセミオープンにした収納スペースを設けた。スニーカーや洋服、洋服周りの小物など持ち物の多いIさん夫妻の希望で、収納スペースをたっぷり設けたのが大きな特徴といえる。「アパート住まいのときは持ち物が収まりきらず、あちこちに詰め込んだ状態だったんです。今はた

窯

業系サイディング3種を張り分けた、硬質な印象の外観。妻のYさんは、クロリデザインがSNSで紹介した住宅のバースに一目で引かれた。物件の完成を待って内覧会を訪れ、直感が確信に変わったという。「住宅の形、外装の素材や色も好みにぴったりでした」とYさん。「見学した住宅と同じ雰囲気」と自分たちの住まいにもリクエストした。

クロリデザインの池田さんの説明に感銘を受けたのも同社を選んだ大きな理由だという。「話に熱が込もっていて、素材や住宅性能についてのこだわり方に好感を持った。この人に家を作ってもらいたいと感じました」と話す。

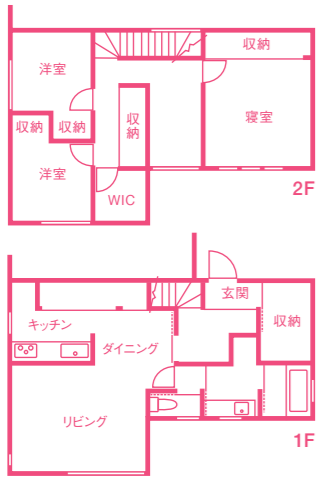
思い切った収納スペースで
上質感のある暮らしを叶える

設計・施工 Clorie Design Inc. | 秋田市/1邸

19



3種の外壁材を張り分け、住宅感をなくしたスタイリッシュな外観。玄関前に壁を設け、出入りするところが見えないようにした。



家族構成

夫(20代)、妻(30代)、長男(2)

設計・施工 株式会社 Clorie Design 一級建築士事務所
 竣工 2024/3 構造・工法 木造軸組工法 規模 2階建
 敷地面積 271.07㎡ (82.00坪)
 床面積(総) 107.64㎡ (32.56坪)
 1階 53.82㎡ (16.28坪)、2階 53.82㎡ (16.28坪)

主な設備・断熱性能等

- 暖房の種類/エアコン(電気)、補助暖房としてFFストーブ(灯油) ●給湯の種類/エコキュート(電気) ●バス/TOTO サザナ ●トイレ/TOTO ネオレスト ●キッチン/TOTO ザ・クラッソ ●調理器具/IH ●窓仕様(主なもの)/アルミ樹脂複合サッシLow-Eトリプルガラス、アルミ樹脂複合サッシLow-Eペアガラス ●断熱材/高性能グラスウール ●換気システム/第1種換気 ●ZEH Oriented ●耐震等級2 ●UA値/0.43W/mK

主な仕上げ材

- 床材(主なもの)/複合(合板)フローリング ●内壁材(主なもの)/ビニルクロス ●屋根材/ガルバリウム鋼板 ●外壁材/窯業系サイディング

総工費・坪単価

- 建築工事費の総額/2,800万円台(税別)
- 坪単価/85~90万円(税別)

Clorie Design Inc.



一級建築士 池田さん



二級建築士 仁部さん

「様々のお忙しさをカバーできればとLINEやビデオ通話を活用し、会話を深めさせていただきました。笑顔あふれるコミュニケーションで想いやコメントを伝えてくださり、温かく楽しく建築をさせていただきました。」

https://clorie.jp
 ☎0120-838-533

→ P.134



6

2. 玄関アプローチ。目隠しの壁と間接照明で、プライベートな雰囲気が漂う。3. 玄関と続きの土間収納。1さんのスニーカーのコレクションは40足ほど。箱も合わせてディスプレイしている。「将来的には息子にも履いてもらいたいですね」と1さん。4. キッチンの背面は、引き戸にした全面収納。棚板にもそれぞれメラミンシートを張り、戸を開け放しても印象が変わらない工夫をした。5. リビングからキッチンを見る。リビング同様、グレーを基調にした。キッチンの柱は節のないスギ板で仕上げられており、空間に温かみを添えている。6. 2階寝室。ベッドのヘッドボードの上に当たる場所に間接照明を設けた。天井を一段下げ、こもり感のあるスペースにしている。7. 室内は間接照明を多用している。トイレの照明も壁に写る陰影に表情がある。8. 2階ホール。アイアンバーを設置して、一時置きなど多用途に使えるようにした。



8



7



4 OPEN



4 CLOSE



3



2

くさんの小物も収納でき、まだ余裕がある。おもちゃなど子どもの物が増えても大丈夫そうな安心感がありますね」と1さんたちは笑顔を見せる。

LDKは外観とも共通するグレーを基調に、木材をアクセントに用いた。石の質感が好きというYさんのイメージに合わせた白のフロアリングとグレーの壁が、ホテルのような非日常感を醸し出す。併せてカーテンや家電など、目に入るものをほとんどグレーで統一している。「あまりにきれいで初めは自分の家という実感がなかった」と振り返る1さんだが、空間に慣れるにつれてくつろぎを感じるように。「自分たちの居場所が定まったというのは、安心感がありいいものですね」としみじみと語った。



5